

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 療育センターももっこ

保護者等数（児童数）

回収数 23/25

割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16	5	2	0	公開の機会は限定されているが、見た限りでは十分と思う。 他施設（1か所見学）と比較して狭いように思える。  良く動く子どもなので、もう少し広いとより満足である。	遊び方により、空間が手狭な時があるため、遊びを分散させるなどの工夫をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	21	1		1	とてもよい。  職員とのコミュニケーションがなければ分かりづらいかもかもしれない。	お迎え時に一対一にて活動時の様子をお伝えしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	21	2	0	0	満足している。  個別療育も集中できる環境でよい。参考になることばかりである。  スペースごとに「役割」を明確にしていると思うので機能的であり、子どもが把握しやすい環境であると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	20	3	0	0	きれいにされている。  スペースが狭いように思えるので、子ども達が心地よく過ごせているかは不明。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	22	0	0	1	満足している。  少なくとも子どもの特性についてはきちんと把握していると思う。  アセスメントはしてくれているが、（懇談日程が合わず）支援計画はまだ見えない。（*1）	支援計画書の説明について、懇談の日程調整が遅れることがあります。懇談での説明が持ちにくい場合は、送迎で来られた時に説明できるように工夫していきます。（以下*1のご意見へのお答えについて省略します）
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	20	1	0	2	満足している。  （*1）と同じ。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21	1	0	1	行われている。  （*1）と同じ。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	19	3	0	1	毎月いろいろな活動を考えてくれていて、子どもも楽しく参加できている。 いつも色々な活動で取り組ませてくれていて、子どもも飽きずに参加できている。 工夫されている。	
	9	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2	0	0	丁寧にされている。 限られた時間の中での報告・説明・質疑応答なので、必ずしもベストではない。	お迎え時にお話をする時間を設けておりますが、個別での面談も随時行っていることのお知らせしていきます。
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	20	2	0	1	時間を取り丁寧に対応してもらっている。 分からないことは聞いているが、自分が子どもの特性を理解しているか自信がないので、勉強できる場があるとよい。 (*1)と同じ。	
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	10	8	0	5	質問にはしっかり答えてもらっている。何をしたら良いかも教えてもらえるとうよい。 子どもの接し方や理解などより詳しく教えてもらいたい。 家庭ごとの差がありそう（受動的な親・家庭ほど支援が薄い可能性）。	家庭支援プログラムについて、今後に向けて、実施の検討をしていきたいと思えます。 子どもの接し方や理解について、来所時のお伝えの場や保護者茶話会等で機会を設けて行っていきます。 どのご家族にも丁寧なお伝えができるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	2	0	0	毎回、その日の出来事を細かく伝えてくれるので子どもの様子がよく分かる。 とても丁寧に教えてくれ子どものことがよく分かる。 毎回、実施した内容とその結果や子どもと話した内容を細かく伝えてくださるので、とても分かりやすく、家庭でも実践してみようと思う。家庭での子どもの様子を連絡帳に記しているが、それに対してあまり反応がない時があり残念である。 しっかりできている。 毎回とはいかないが。	連絡帳のご家族記入欄については、毎回全職員で確認しております。しかし、そこに書かれてあることへの返答ができていない時があったようで申し訳ありません。連絡帳の記載をしっかり確認し、お答えを徹底していきます。
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	20	1	0	1	毎回してもらっている。 年3~4回は個人面談があると、施設との情報交換・共有が密になり好ましい。	日程の都合上、全利用児に対しての個別面談を増やすことは難しい状況です。お聞きしたいことがあれば、遠慮なくその都度お伝えして頂ければ、個別面談等の時間を行ってまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	15	5	1	2	<p>コロナの関係で、頻繁には開かれていないが、一度屋外でのものに参加しよかった。</p> <p>仕事の都合で参加したことはないが、今後機会があれば参加したい。</p> <p>普段あまり交流がないので、茶話会を開いてもらってありがたい。</p> <p>コロナの関係で仕方がないが、茶話会をもう少し増やしてほしい。</p> <p>交流の場はあるが、連携は特にない。</p> <p>未だ参加したことはないが、そのうち参加したい。</p>	保護者茶話会について、回数を増やしてほしいとのご要望も伺っております。今年度は、コロナの状況をみながら、後期に2回実施しました。さらに回数を増やしていけるよう取り組んでいきます。
適切な支援の提供	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	21	2	0	0	<p>先生に親身に相談に乗ってもらい、また、具体的なアドバイスもありがたい。</p> <p>小学校入学に際しての必要事項・注意事項について伝えてもらったことがある。</p> <p>人気の事業所なので、もっとたくさん利用したいところは残念だが、希望は通してもらっている。</p>	
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	20	2	1	0	<p>(*1)と同じ。</p> <p>満足している。</p>	
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	11	7	2	2	<p>ホームページはチェックしていない。</p> <p>何かある時は、いつも前もって教えてもらっている。</p>	会報は出していませんが、法人としてSNSでの発信を始めました（Facebook・Twitter・Instagram）。活動概要や行事については随時お伝えしています。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	21	1	0	0	<p>取り扱いは適正である。</p>	
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10	3	0	9	<p>最初にしっかりと説明してもらっている。</p>	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7	3	0	12	<p>把握していない。</p>	後期中途から、玄関掲示スペースに、避難訓練等の実施状況を貼りだしています。都度、お伝えをしていきます。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	23	0	0	0	<p>とても楽しみにしている。</p> <p>毎回楽しみにしている。</p>	
	22	事業所の支援に満足している	22	1	0	0	<p>情報共有がすばらしく、適切な支援をもらっている。</p> <p>いつも丁寧に対応してもらっている。</p> <p>満足している。</p> <p>支援の成果は充分に子に反映している。</p>	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		遊び方により、空間が手狭な時があります。
	2	職員の配置数は適切である	5		基準配置数に加え、加配職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		子どもの成長に合わせて、活動空間での物品の配置等常に改善し分かりやすく構造化された環境となるよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		清掃に加え、消毒も毎日行っています。定期的には大掃除も実施しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		日々の反省会や毎月の運営会議で、業務の改善に向けて全職員で取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年一回、評価表のアンケートで頂いたご意見は、職員全員で共有し、改善するよう努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	法人内で実施しているサービス向上委員会で評価の機会を設定しています。このことについて現場職員の周知に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		コロナ禍での対応として、外部研修がオンラインで行われる中で、積極的に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		主にNCプログラムを基にアセスメントを行い、保護者の方と面談を実施し作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		他者との関わり方について、観察を行い、かかわりレベルシートを基に評価を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児童発達支援ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。 地域支援として、保育園・幼稚園等訪問やその他関係機関との連携を図っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		計画を確認して支援に臨むよう取り組んでいます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当職員が立案し、職員全員で確認・修正という形をとっています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		活動内容は、月ごとに変更し、一か月を通して徐々にレベルを上げていくようにしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		それぞれの子どもの課題に応じた場面を設定しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日、支援開始前に朝礼を行い支援内容等確認しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎日、支援終了後に反省会を行い、支援の振り返り等を行っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援の様子は連絡帳に記入し、コピーをファイリングしています。反省会であげられた共有事項は、支援記録システムで記録し、振り返れるようにしています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		半年ごとにアセスメントを行い、計画内容の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		サービス担当者会議が開かれる場合には、適切な職員が参加しています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		必要に応じて地域の保健師や相談支援員などと情報交換や連携した取り組みを行っています。相談員のモニタリングによる計画を取り入れた支援計画を作成しています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			今後必要となってきた場合にはしっかりと連携を取っていきたいと思います。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			今後必要となってきた場合にはしっかりと連携を取っていきたいと思います。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保育園・幼稚園・小学校等への訪問や事業所見学の受け入れを行っています。情報提供書を作成し、情報共有を行っています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	就学時に引き継ぎ書は希望者に提供しています。就学して小学校の情報共有は、保護者を介して行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	児童発達支援センター企画の研修を受講しています。また、他機関へ見学を実施しています。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	今年度は参加ができていません。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		利用日にはその日の様子を伝え、保護者の方から様子も伺っています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	保護者の方対象の茶話会は行っていますが、家族支援プログラムは研修等への参加を検討しています。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行っています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		半年ごとに、計画を見直し、個別に面談の時間を設けて説明し確認を行っています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		利用日には、その日の様子をお伝えするとともに、保護者からの相談も受けられるようにしています。その場でお答えが難しい内容には、支援者で検討し後日お伝えするようにしています。半年に一度は、個別に懇談時間を設けています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	定期的に保護者対象の茶話会を実施しています。今年度は、コロナの関係で前期は取りやめになってしまいましたが、後期2回実施しています。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		契約時に相談窓口をお伝えし、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	会報は出していませんが、法人としてSNSでの発信を始めました(Facebook・Twitter・Instagram)。活動概要や行事については随時お伝えしています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意している	5		法人として、個人情報について厳重に管理しています。肖像権使用についても、個別に文書で確認しています。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		視覚的に伝えたり、メモや文書にして伝える等の工夫をしています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	法人全体として取り組んでいます。今年度はコロナ対策もあり実施できませんでした。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	コロナ感染症対策として、机上シュミレーションを行っています。マニュアル等について、保護者への周知に努めます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年間計画に沿って定期的に訓練を実施しています。訓練後は、掲示板に報告書を掲示しています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約時に聞き取りを実施しています。予防接種についての確認は不十分なため、聞き取り内容に加えるよう工夫していきます。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		保護者からの聞き取りを基に、給食やおやつはアレルギー対応を行っています。医師の指示書にも対応します。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		気付いた時のヒヤリハットの提出に加え、職員一人ひとりが事例を提出し、改善できる方法を検討し共有しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修をオンラインで受講しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		契約時に説明し、職員にも周知しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。